

Cruz Charlene (クルーズ チャーリン) さん フィリピン共和国 鹿屋市 高校生

タイトル：JK フィリピン人が感じた日本の学生生活

こんにちは！

みなさん、JK といえばどんなイメージしますか？プリクラ、買い物、女子トーク、恋愛。

やはり、青春ですよね？若さを楽しめる時期「人生の春」という感じです。でも、私の青春時代はそうではありませんでした。

私は日本の中学校へ入りました。唯一の外国人で珍しく、いつもまわりにみんながいてくれました。みんな辞書を使いながら英語で話しかけてくれて、とってもうれしかったです。でも、それは1か月という短い間で終わってしまいました。

日本語が話せなかったので、気付いたらまわりに誰もいなくなって、友達ができませんでした。お昼休みの時、話す相手がいないから仕方なく、読みたくない本を読んでいた。自分をうまく出せなくて、閉ざされた世界にいる感じでした。本当の私は、おしゃべりで、うるさくて先生によく怒られてしまう学生でしたが、ここに来たらなぜか、まじめな学生になってしまいました…

日本語を書くことも、読むこともできなかったのも、授業も理解できずテストも全部不合格で成績も落ちてきて私はここに在るべきか、私が選んだ道は正しかったのか。将来のことがとても不安になりました。フィリピンにいたときは成績はいつもトップで、学生をまとめる重要な役もしていたのに、ここでは自分の宿題さえもできないおちこぼれになってとても辛かったです。

私には叶えたい夢があるのに、こんな状況は さ・い・あ・く でした！！でも、このことをバネにして、朝も夜も睡眠時間を減らしてでも、必死に日本語の勉強をしました。青春を楽しむことができませんでした。私の青春はすべて将来のための勉強に費やしました。

本当はとってもさびしくて、孤独で、違う国、違う言葉や文化、知らない人たちの中で春を感じる時期だったはずなのに、とても冷たい冬のような感じでした。今は努力のおかげで、成績もよくなり、言いたいことを話せるようになりました。友達もできて、私は本を読むふりをしなくてよくなりました。もちろん、話しすぎて先生に怒られるようにもなりました。(笑)

日本でつらい経験も、苦い思い出もすべて私を成長させるための力になりました。振り返ると、なんでも乗り越えられる気がします。私の夢もだんだん現実的に大きくなってきました。まずは高校を卒業して、日本で看護師になる夢をかなえます！！また、冬が来るかもしれないですが、春が必ず来ると私は信じています。

ご視聴、ありがとうございます。